

第7回 次世代アジュバント研究会

次世代アジュバント研究会(会長:山西弘一 独立行政法人 医薬基盤研究所名誉理事長)について:本研究会は、日本発の次世代ワクチンの開発が待望され、とりわけアジュバント(免疫増強剤)研究への関心が高まる中、新規アジュバント開発研究における有効性、安全性向上のための産学官共同研究のプラットフォーム組織として、平成22年度に設立されました。

とき:	2014年1月21日(火) 9:30~13:00(受付:9:00~)
ところ:	千里ライフサイエンスセンター 5階 ライフホール 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 (最寄り駅:北大阪急行電鉄あるいは大阪モノレール 千里中央駅)
主催:	次世代アジュバント研究会、独立行政法人 医薬基盤研究所
共催:	厚生労働省研究班「ワクチンアジュバントの安全性等評価データベース構築等に関する研究」(研究代表者 石井健)
参加費:	無料
定員:	420名
申込・問合せ:	参加ご希望の方は氏名及び所属を記載して、下記e-mail又はFAXでお申し込み下さい。 独立行政法人 医薬基盤研究所 戦略企画部 (Tel:072-641-9811、FAX:072-641-9821、E-mail:adjuvant140121@nibio.go.jp)

プログラム(第1部は質問時間なし、他は4から5分の質問時間を含む)

(9:00)	受付開始
1(9:30)	開会・挨拶 山西弘一(会長、(独)医薬基盤研究所 名誉理事長)
2(9:35) ①(9:35~10:00) ②(10:00~10:25) ③(10:25~10:40) ④(10:40~10:55)	講演会第一部(以下講演者) ①滝 久司(厚生労働省健康局 結核感染症課予防接種室 室長補佐) 「最近のワクチン行政について ~研究開発及び生産・流通部会を中心に~(予定)」 ②松本峰男((独)医薬品医療機器総合機構 信頼性保証部) 「ワクチンアジュバント開発に必要な非臨床安全性評価 - WHO ガイドラインを中心として」 ③石井 健((独)医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクトリーダー) 「ワクチンの副作用は予測できるか? 安全なアジュバントとバイオマーカー開発の新展開」 ④水口賢司((独)医薬基盤研究所バイオインフォマティクスプロジェクトリーダー) 「アジュバントゲノミクス」に向けた統合データベースの現状」
3(11:15)	ポスターセッション※/コーヒーブレイク
4(12:00) ①(11:35~12:00) ②(12:00~12:25) ③(12:25~12:55)	講演会第二部(以下講演者) ①保富 康宏((独)医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター長) 「アジュバント活性をもつAg85B遺伝子組み込みエイズウイルスの靈長類での制御」 ②高津 聖志(富山県薬事研究所 所長) 「ワクチン用新規アジュバント開発のための基盤研究」 ③ポスターからの口頭発表
6(12:55)	閉会挨拶 米田 悅啓((独)医薬基盤研究所 理事長)
7(13:00)	閉会(13:00)※※

※ ポスター発表については当日の抄録をご覧ください。

※※ポスターは、9時から発表時間前までに指定の場所へ掲示して下さい。ポスターの撤去は、当日の13時30分までにお願いします。それ以降の掲示物は、主催者の判断により廃棄させていただきます